福島県保育士修学資金特別貸付事業実施要綱

1 趣旨

保育士資格の取得を目指す学生が、経済的理由により指定保育士養成施設への進学をあきらめることのないよう、指定保育士養成施設入学前に修学資金を貸し付けることにより、保育人材の確保を図る。

2 実施主体

本事業の実施主体は、社会福祉法人福島県社会福祉協議会とし、本事業に要する費用について、県は別に定めるところにより補助する。

3 貸付対象

保育士の資格取得を目指し、県内の指定保育士養成施設への推薦入学が決定しており、かつ、指定保育士養成施設を卒業後、福島県内において保育業務に従事しようとする者。

4 貸付額

500,000円以内。

(半期分(4月から9月)の学費相当分300,000円以内(月額50,000円以内)
+入学準備金200,000円以内。ただし、学費相当分については、修学期間により異なる。)

5 貸付の条件

本事業による貸付を受ける者は、以下の要件を全て満たす者であること。

- (1)「保育士修学資金の貸付け等について」(平成28年2月3日付け厚生労働省発雇児0203第3号)に定める「保育士修学資金貸付等制度実施要綱」(以下、「国実施要綱」という。)の「保育士修学資金貸付」(以下、「現行貸付」という。)の貸付要件を満たす者。ただし、国実施要綱中「在学」とあるものは、「入学を予定」と読み替える。
- (2)生活保護世帯又は市町村民税非課税世帯に属する者。
- (3)出身学校長の推薦を受け、県内の指定保育士養成施設が実施する推薦選考を受験し、合格した者。
- (4)合格後、実施主体が別に定める日までに入学手続きを完了する見込みの者。
- (5)指定保育士養成施設入学後に、現行貸付を受け、第1回目の修学資金の貸付を受けた後、本事業による貸付金を速やかに返還することを確約する者。

6 返還金の相殺

実施主体は、5（5）に規定する返還を、本事業による債権と現行貸付による債務の相殺に代えることができる。

7 留意事項

この要綱に定めることその他、貸付事業の運営に係る基本的事項は、国実施要綱及び「保育士修学資金貸付等制度の運営について」（平成 28 年 2 月 3 日付け雇児発 0203 第 2 号）に準じた取扱いとする。

その他、本事業の実施に当たり必要な事項については、別に定める。

附 則

この要綱は、平成 30 年 6 月 8 日から施行する。